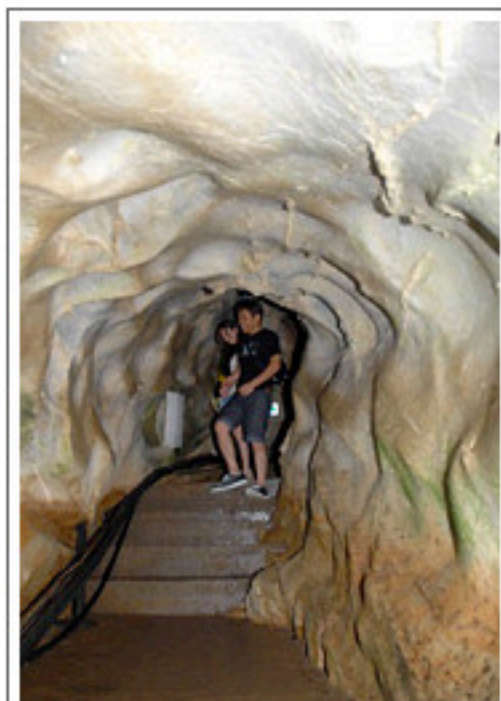


地域活性化支援センター（静岡市）が地域活性化と少子化対策への貢献を掲げ取り組んでいる「恋人の聖地プロジェクト」で、郡上市八幡町美山の郡上八幡美山鍾乳洞が「恋人の聖地サテライト」に選定された。同施設は手を取り合って進む洞窟の特性と出口付近の見晴らしの良さを押し出し、「プロポーズにふさわしいロマンチックなスポット」としてカップル向け企画の充実などを図っていく。

同プロジェクトは2006年にスタートし、ファッションデザイナー桂由美さんや華道家假屋崎省吾さんらが選定委員を務める。

恋人の聖地サテライトは企業団体が管理運営する施設が対象で、美山鍾乳洞は「鍾乳洞になじみの薄い若い世代にも興味を持ってほしい」（山田慶太代表）と審査を申請。「愛のトンネル」「真珠の滝」など情緒ある見どころが多いほか、高低差約80メートルとコースに起伏があり「男女が自然と手をつなぎやすい」ことを強調。今春、遠く御嶽山も望める標高約620メートルのコース出口付近に「しあわせの鐘」を新設したことも評価された。

専門ガイドが未開洞で行っているケイビング（洞窟探検）や施設内に設けられた食品サンプル製造体験コーナーとのコラボ企画も検討中。山田代表は「自然が織りなす美しさの中で男女がぎゅっと距離を縮められる施設として、魅力をさらに高めていきたい」と話した。



見晴らしの良いコース出口付近に設けられた「しあわせの鐘」